

令和5年度

警察本部運営プログラム

評価票

令和6年8月

警察本部

令和5年度 警察本部施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

【 】：第4次山形県総合発展計画実施計画の施策番号

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

- (1) 暮らしの様々なリスクへの対応力の強化【4-2】
 - ① 様々な犯罪の予防と消費者保護の推進
 - ② 交通事故防止のための取組みの強化

2 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

- (2) 暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装【5-1】
 - ③ 誰もが安全にICTを利活用できる環境づくり

令和5年度 警察本部 主要事業実施状況

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり【4】

(1) 暮らしの様々なリスクへの対応力の強化【4-2】



目標指標	刑法犯認知件数	
	基準値（令和元年）：3, 275件	
	直近値（令和5年）：2, 980件 （前年値 2,885件 前年比+95件）	
	目標値（令和6年）：3, 275件未満	
	進捗状況	目標値に到達

取組みの成果

① 様々な犯罪の予防と消費者保護の推進

KPI	重要犯罪検挙率					
	基準値（平成22年～令和元年平均）：85%					
		R2	R3	R4	R5	R6
	指標値	85%	85%	85%	85%	85%
	実績値	103.2%	97.2%	65.6%	86.0%	
	進捗状況	指標値どおりに推移				

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

<地域における防犯対策の促進>

（評価）

- ・令和5年中の刑法犯認知件数は2,980件となり、9年連続の減少から増加に転じて前年と比べて95件増加したものの、重要犯罪の検挙率は指標値を上回り、県内の治安指数は概ね良好に推移した。
- ・特殊詐欺被害については、前年同数の認知件数となったものの、SNS型投資・ロマンス詐欺の被害については増加した。

（見直しの方向性）

- ・重要犯罪等の検挙、総合的な犯罪組織対策及び捜査力の強化
 - ⇒各種犯罪に対する迅速かつ徹底した捜査による被疑者の検挙
 - ⇒警察各部門が連携した合議体「Σ（シグマ）」による総合的な犯罪組織対策の展開
 - ⇒捜査支援資機材の整備、DXの推進、各種教養・訓練等による捜査力の強化
- ・絶え間ない社会情勢の変化に対応した防犯活動等の推進
 - ⇒犯罪情勢の的確な分析結果に基づく効果的な防犯対策及び職務質問等の効果的な街頭活動による犯罪抑止活動の推進
 - ⇒「やまがた110ネットワーク」等を活用したタイムリーな情報発信、巡回連絡等あ

らゆる警察活動に際したきめ細やかな防犯指導による「県民が自ら安全を守るための対策」の推進

⇒防犯C S R活動、青色防犯パトロール、防犯カメラの設置、防犯教室の開催等、地域社会との協働による児童・生徒等の安全確保対策の推進

⇒警察安全相談への迅速・確実な対応

⇒警察等による街頭防犯カメラの設置及び自治体に対する設置に向けた働きかけ

・官民一体による特殊詐欺被害防止対策

⇒被害実態の分析に基づく防犯指導、広報啓発活動の推進

⇒迷惑電話防止機能付き固定電話機の普及促進、高齢者関係団体等と連携したアポ電対応訓練の実施、非通知番号からの着信を拒否する携帯電話対策の設定促進、オートコールシステムを活用した特殊詐欺被害の水際阻止対策の推進

⇒高齢者のATM出金限度額制限、コンビニエンスストアにおける声掛け訓練等を通じた金融機関、コンビニエンスストア等と連携した対策の推進

⇒口座凍結、犯行使用電話の利用制限措置等による徹底した犯行ツール対策

<児童・高齢者・障がい者等の虐待対策や犯罪被害者対策の推進>

(評価)

・令和5年中のストーカー・DV事案の認知件数は前年と比べて減少したものの、児童虐待事案の通告人員及び高齢者虐待事案の認知件数は、前年より増加した。

(見直しの方向性)

・県民の生命と身体の安全確保を最優先にした人身安全関連事案への的確な対処

⇒ストーカー・DV事案等に対する危険性・切迫性の的確な見極めと迅速な対処

⇒関係機関との連携による児童虐待事案等の早期発見と被害者の安全確保

⇒行方不明事案への迅速かつ的確な対処

⇒こども110番連絡所の設置

⇒ストーカー被害者等のための緊急通報装置貸出し及び一時避難場所の確保

・犯罪被害者支援の推進

⇒市町村、その他の関係機関・団体等連携による犯罪被害者支援の更なる促進

<サイバー犯罪の抑止のための対策の推進>

(評価)

・令和5年中の本県におけるサイバー犯罪の検挙件数は、前年と比較して増加したほか、サイバー犯罪等に関する相談件数についても増加した。これら犯罪の手口は匿名化、巧妙化しており、サイバー空間の脅威は依然として深刻化している。

(見直しの方向性)

・サイバー事案への的確な対処に向けた捜査・支援の推進

⇒サイバー事案への的確な対処に向け、国際捜査も見据えた警察庁サイバー特別捜査部や他県警察等との連携捜査

⇒サイバー犯罪対策課と山形県情報通信部の一体的運用の拠点である「山形県警察サイバーセンター」による捜査支援及び検挙

・サイバーパトロール等による違法・有害情報対策の推進

⇒大学生等サイバーパトローラー等と協働したサイバーパトロール等による違法・有害情報の把握・削除、フィッシングサイト、詐欺サイト等の閲覧制限・削除等の対策の推進

・サイバー犯罪被害の潜在化の防止

⇒県民や事業者に積極的な通報や相談を促すことによるサイバー犯罪被害の潜在化の防止、通報・相談受理時の迅速な捜査活動

⇒県民や事業者への注意喚起など迅速的確な対応の徹底、官民連携の拡充等による被害拡大防止

<ul style="list-style-type: none"> ・ 捜査用資機材の高度化と充実強化 ⇒押収した証拠品からの迅速なデータ抽出と正確な分析に資する捜査用資機材の高度化と充実強化 ・ 更なる組織基盤の強化 ⇒公共空間へと変貌したサイバー空間の脅威に対処するための組織基盤の強化
--

【令和5年度関連事務事業】

(単位:千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
防犯活動推進事業費	35,069 (46,104)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「やまがた110ネットワーク」を活用した情報発信(令和5年中1,576件配信) ・ 特殊詐欺被害防止対策(タレントを起用した広報啓発動画制作) ・ 街頭防犯カメラの増設(山形駅周辺に3台増設) ・ 迷惑電話防止機能付き固定電話機への買い換えキャンペーンの実施 	16
子ども・女性安全対策推進事業費	543 (608)	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども110番連絡所の設置 ・ ストーカー被害者等のための緊急通報装置貸出し及び一時避難場所確保(令和5年中の緊急通報装置貸出し件数8件) 	16
サイバー犯罪対策事業費	6,701 (6,705)	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイバー犯罪捜査官の捜査能力向上 ・ 捜査用資機材の整備 	16
捜査活動用資機材整備費	76,644 (76,817)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捜査用資機材の整備 	16
刑事警察行政活動費(録音・録画装置の整備)	11,519 (11,520)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取調べの録音・録画装置の整備 	16
警察施設長寿命化推進事業費	124,405 (126,185)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警察署庁舎等に係る長寿命化対策及び浸水対策 	16
交番・駐在所整備事業費	102,474 (153,072)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒河江警察署河北交番の改築(令和6年3月竣工) ・ 酒田警察署平田駐在所の改築(令和6年度完成予定) 	16
被服費(女性警察官用制服の改善)	12,308 (12,308)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性警察官用制服の改善 	16
計	369,663 (433,319)		

② 交通事故防止のための取組みの強化

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

＜交通事故防止対策の推進＞

(評価)

- ・令和5年中の交通事故発生件数、負傷者数は前年より減少したが、死者数は増加した。

(見直しの方向性)

- ・交通事故分析及び交通実態把握に基づく交通事故防止対策
 - ⇒交通事故分析に基づく総合的な交通安全対策
 - ⇒交通実態の変化等に即した交通規制の実施と交通安全施設の充実
 - ⇒デジタル技術を活用した交通事故防止に資する情報等の県民への積極的な提供による広報啓発活動
- ・交通事故防止に資する交通指導取締りと街頭活動の推進
 - ⇒PDCAサイクルに基づく実効性ある交通指導取締り
 - ⇒悪質性・危険性・迷惑性の高い交通違反の指導取締り
 - ⇒自転車その他小型モビリティ利用者の交通違反の指導取締り
 - ⇒「見せる・聞かせる」街頭活動の推進
- ・関係機関・団体と協働した高齢運転者対策
 - ⇒身体能力と運転技能を自覚させる参加・体験・実践型の運転教育
 - ⇒安全運転相談窓口や運転免許自主返納制度の周知と運転技能検査など高齢運転者対策の円滑な実施
 - ⇒安全運転サポート車の普及啓発活動
- ・社会に根付く歩行者・自転車等対策
 - ⇒「交通安全ありがとう運動」の浸透による歩行者に日本一やさしい山形県に向けた取組
 - ⇒自転車その他小型モビリティの基本的な交通ルールの周知を図る交通安全教育の推進
 - ⇒関係機関・団体と連携した歩行者に対する夜光反射材の普及・着用促進
 - ⇒横断歩行者妨害の指導取締りと歩行者に対する交通ルールの浸透
 - ⇒通学路等における交通安全の確保

【令和5年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	決算額 (予算額)	事業実施状況	関連する SDGsの ゴール
交通安全施設整備事業費 交通安全施設緊急対策費	971,539 (972,846)	・交通信号機、道路標識及び道路標示の整備 (信号機の新設3基、視覚障害者用付加装置3基)	11
高齢者等交通事故抑止対策費	14,338 (14,355)	・「交通安全ゆとり号」等による交通安全教育や老人クラブ会員等への交通安全研修 (交通安全ゆとり号を使用した研修会を令和5年度中88回実施)	11
警察行政情報ネットワーク等整備事業費(運転免許関係事務のデジタル化の推進)	236,279 (236,309)	・運転者管理システムの高度化(自動受付機の導入) ・臨時認知機能検査のデジタル化	11
計	1,222,156 (1,223,510)		

2 未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用【5】

(2) 暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装【5-1】



取組みの成果

③ 誰もが安全にICTを利活用できる環境づくり

【令和5年度における評価と見直しの方向性】

<県民のICTリテラシーの向上と安全・安心な利用環境の確保>

(評価) (再掲)

- ・令和5年中の本県におけるサイバー犯罪の検挙件数は、前年と比較して増加したほか、サイバー犯罪等に関する相談件数についても増加した。これら犯罪の手口は匿名化、巧妙化しており、サイバー空間の脅威は依然として深刻化している。(再掲)

(見直しの方向性) (再掲)

- ・サイバー事案への的確な対処に向けた捜査・支援の推進
 - ⇒サイバー事案への的確な対処に向け、国際捜査も見据えた警察庁サイバー特別捜査部や他県警察等との連携捜査
 - ⇒サイバー犯罪対策課と山形県情報通信部の一体的運用の拠点である「山形県警察サイバーセンター」による捜査支援及び検挙
- ・サイバーパトロール等による違法・有害情報対策の推進
 - ⇒大学生等サイバーパトローラー等と協働したサイバーパトロール等による違法・有害情報の把握・削除、フィッシングサイト、詐欺サイト等の閲覧制限・削除等の対策の推進
- ・サイバー犯罪被害の潜在化の防止
 - ⇒県民や事業者に積極的な通報や相談を促すことによるサイバー犯罪被害の潜在化の防止、通報・相談受理時の迅速な捜査活動
 - ⇒県民や事業者への注意喚起など迅速的確な対応の徹底、官民連携の拡充等による被害拡大防止
- ・捜査用資機材の高度化と充実強化
 - ⇒押収した証拠品からの迅速なデータ抽出と正確な分析に資する捜査用資機材の高度化と充実強化
- ・更なる組織基盤の強化
 - ⇒公共空間へと変貌したサイバー空間の脅威に対処するための組織基盤の強化